



●あそび場のコンセプト

絵本の世界観を元にあそび場を演じながら冒険する (=あそぶ)

あそび場中央には久喜市桜田子育て支援施設の特徴となる「図書エリア」を設けます。絵本で得た世界観やシナリオを元に、各エリアで様々な「こころ・頭・からだ」を使った「あそび」が体験できます。

●各エリアについて

図書エリア

絵本を十分に楽しんでもらうために、様々な過ごし方を提供します。プレイハウスでは家のお部屋のようにリラックスしたり、だんだんベンチに腰掛けてラフに過ごしたり、小上がりステージでは読み聞かせのイベントや劇が開催されたり…。その時々で優々が好きなように過ごすことができるエリアです。



アクティブエリア

体を思う存分使ってあそぶことができる動のあそびエリア。シンボリックな複合遊具とボールプール、クライミングウォール、可動式の遊具を組み合わせて多様な動きを生み出します。



静のあそびエリア

なりきりあそび(おままごと)や縮尺あそび(ジオラマ)、組み立てあそびで構成された静のあそびエリア。静のあそび側に向けたプレイハウスはお家やお店になります。実際に子どもたちが役になりきれるよう、子どもたちの等身大に合わせたキッチンを設置します。



ベビーエリア

6か月～2歳までの赤ちゃんに向けたベビーエリア。縦横材を用いた環境設定により、安心してはいはい・よちよち歩がができます。乳幼児期の発達段階に合わせた、抱先から全身を使ったあそびをサポートするあそび道具を選定します。

